

2020年7月22日  
イオンタウン株式会社

## 千葉県旭市の地方創生事業に参画 生涯活躍のまち・あさひ形成事業基本協定締結について

イオンタウン株式会社（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：加藤 久誠、以下：当社）は、旭市と、当社を代表事業者とする事業者グループ（大和ハウス工業株式会社、阿部建設株式会社、株式会社楽天堂）が「生涯活躍のまち・あさひ形成事業」に係る基本協定を締結いたしましたのでお知らせいたします。

旭市では、人口減少と少子高齢化が急速に進行する中、地方創生の観点から、国の推進する生涯活躍のまち構想に基づき、2016年2月に策定した旭市総合戦略より、「旭市生涯活躍のまち構想」を重点戦略として位置づけ、実現に向けて取り組んでまいりました。

当構想に基づき2018年度に旭市が実施した公募型プロポーザルにより選定された当社を含む事業予定者と旭市は、国保旭中央病院から道の駅「季楽里あさひ」を一体的にとらえたエリアを対象に、「生涯活躍のまち・あさひ形成事業」として、官民連携による新たなまちづくりに取り組んでいます。

「生涯活躍のまち・あさひ形成事業」まちづくりの核として、テーマ性をもった商業施設やクリニックモール、介護施設や住宅および「多世代交流施設」を複合した賑わい創出拠点を計画しており、子どもから高齢者まで世代を越えた交流や活躍が生まれる場となるよう検討を進めています。

当社は、旭市や事業者の皆さまと一層協力し合いながら、旭市ならではの魅力あるまちづくり実現の一助となれるよう、また安全・安心な地域の日常に貢献できるよう取り組んでまいります。



写真： 明智市長とイオンタウン(株)および事業予定者各代表

※締結式は、約856㎡のいいおかユートピアセンター2階「潮騒ホール」を会場とし、参加者は、2m以上の社会的距離を取り、マスクを着用の上登壇しております。また、入室前には検温ならびにアルコール消毒を実施し換気を行うなど、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した上で実施いたしました。なお、報道関係者様には、LIVE配信にてご参加をいただきました。  
※写真撮影時のみマスクを外して撮影しております。

#### ■計画地について

当SCが位置する旭市は千葉県北東部に位置し、千葉市から50km圏、また都心から80km圏にあります。市の中央部を東西に、JR総武本線と国道126号が通り、周辺は市街地として発展しています。

本計画地は、「生涯活躍のまち・あさひ形成事業」の新しいまちづくり「みらいあさひ」に位置します。新しいまち「みらいあさひ」を拠点とし、診療圏が千葉県東部から茨城県鹿島地区までの13市7町を包括し診療人口100万人を誇る旭中央病院を医療連携拠点、道の駅季楽里あさひを農業・交流拠点とし連携することで、多世代が交流し、生涯活躍できるまちを創出します。

#### ■生涯活躍のまち・あさひ形成事業コンセプト

地域と共に「楽しく健康になる」ための持続可能な多世代交流拠点

## みらいあさひ

～「ひと」、「まち」、「くらし」が充足する“居心地の良い場所”～



※画像はイメージです。

#### 【導入機能】「多世代交流施設」

商業施設内に設置される「多世代交流施設（以下：当施設）」は、市や事業予定者のほか地元企業など様々な主体の参画により、多世代の交流や活躍の場、そして地域活性化の核となることを計画しています。

なお、当施設は旭市が賃借することで公の施設として設置されます。また、管理運営は指定を受けた事業予定者が担います。

※業務内容、指定管理期間等については、別途締結する基本協定及び管理運営に関する年度協定等にて定めます。

**【まちづくり推進組織】**

市と事業予定者を中心に、近隣の拠点施設、地元団体、地元企業、学校等、また地域住民その他関係者が参画するまちづくり推進組織を組成します。当事業のコンセプト実現のために、それぞれの強みを最大限に活かしながら持続的なまちづくりを推進してまいります。

**■事業概要について**

事業用地	旭市イ字振田4322番地ほか
事業予定者	イオンタウン株式会社（代表企業） 大和ハウス工業株式会社 阿部建設株式会社 株式会社楽天堂
導入機能	商業施設・住宅・居住施設・介護施設・多世代交流施設 ほか
開業時期	2022年春（予定） ※以降も段階的な整備を行います

**【本件に関するお問い合わせ先】**

イオンタウン株式会社 戦略部 広報担当 TEL：043-212-6307